





ひらかた 社協だより

第97号

平成19年9月1日

発行者／  社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 
編集／社協だより編集委員会 〒573-1191 枚方市新町2丁目1-35
枚方市立総合福祉会館「ラポールひらかた」内 ☎844-2443 FAX845-1897

もくじ

- 「赤い羽根」共同募金運動がスタートします — 1
- くすの木園特集 — 2
- ボランティアグループ紹介— 3
- 校区福祉委員会活動紹介— 4
- 校区ふくしのまちづくり計画策定中 — 5
- 社協からの情報掲示板— 6



赤い羽根で親しまれている共同募金運動が、今年も10月から全国で一斉にスタートします。「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに掲げ、募金ボランティアによる街頭募金、自治会などによる戸別募金、また、市内事業所など法人募金の呼びかけは民生委員・児童委員に、職域募金

今年も赤い羽根共同募金運動がスタートします。「赤い羽根共同募金」は、地域福祉の推進を目的として、社会福祉事業の発展に役立てられます。みなさまのご協力をお願いします。

地域の福祉 みんなまで参加

実施期間

10月1日～ 12月31日

は組合組織など、多くの人たちに支えられながら60年以上の歴史を積み重ねてきました。寄せられた募金は、大阪府共同募金会を通じて、民間社会福祉施設、社会福祉団体、社会福祉協議会に配分され、地域福祉の推進に活用されます。昨年年度も、保育園や社会福祉施設、障害者作業所に配分が決定し、備品や設備の充実に役立てられました。赤い羽根に参加・協力することは、とても身近で大切なボランティア活動です。子どもから高齢者、障害のある人など、みんなが

は組合組織など、多くの人たちに支えられながら60年以上の歴史を積み重ねてきました。

募金いろいろ

赤い羽根「記念バッジ」「図書カード」「クオカード」購入で、あなたも身近な地域福祉の発展に貢献しませんか？

バッジ募金



赤い羽根共同募金によって、みんなが幸せになるようにと願いを込め、ハートの中に幸せな笑顔の人々をイメージしたデザインとなっています。

制作者 中森康夫さん
1個 500円でご協力いただけます。

プリペイドカード募金

五味太郎が描くやさしさの世界

人と人をつなぐ思いやりを、五味太郎さんが絵にしています。

1枚1000円でご協力いただけます。

(内訳：ご利用額500円、寄付金500円)



枚方地区募金会(社会福祉協議会内)

電話 844-2443

赤い羽根共同募金の詳しい内容は
赤い羽根おおさかホームページ

赤い羽根おおさか

検索



安心して暮らすことのできる社会をつくるため、今年もご協力をお願いします。

自立をめざし、一人ひとりの必要に応じた支援を！

枚方市立 くすの木園

(知的障害者通所更生施設)

枚方市立くすの木園は、昭和 55 (1980) 年に設立された知的障害者通所更生施設です。設立当初から枚方市社会福祉協議会が運営を受託し、知的障害のある人たちの社会自立を推進するため、日々の活動を通して、きめ細かな支援を行っています。

くすの木園が取り組む3つの柱^{プラス}+1

余暇

余暇活動を通じて、いろいろな経験をし、興味や関心の幅を広げてもらうような取り組みをしています。毎週金曜日のフライデーサークルでの外出やデザート作り。また、外出活動では、電車で出かけたり、近くのスーパーに買い物に行ったりと、バリエーションに富んだ取り組みを行っています。



生活



食事のマナーを身につける、身だしなみを整えるなど、食事、更衣、排せつ、整理・整頓などの基本的な生活習慣を身につけ、家庭との連携をとりながら、自らができる事を増やすための支援を心がけています。

作業

障害のある人でも、「働く事」によって社会に参加し、地域の中で暮らすことは大切です。くすの木園では、主に3種類の軽作業と、アルミ缶回収など、地域の方々の協力を得てリサイクル作業に取り組んでいます。「働く事」で工賃を受け取る、当たり前のことですがとても大切なこと。無理のないよう、一人ひとりにあった作業を心がけています。



土曜日の取り組み

以上の3つの柱をさらに補充するものとして、月に1~2回土曜日を開所しています。流しそうめんや鍋料理など、季節感のある調理実習や、外出活動など、平日とはちょっと違った取り組みで、とても好評です。



利用者募集中です！
くすの木園には、現在32人の利用者が通所し、作業や余暇活動など、日課に沿って活気ある毎日を過ごしています。年2回の健康診断・身体測定を実施し、希望者には歯科通院介助も行い、健康面にも気を配っています。
最近のみんなの楽しみは「フライデーサークル」と土曜日の取り組み、そして

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

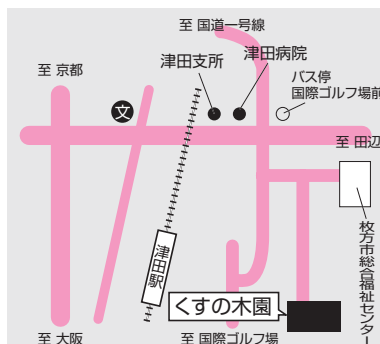
枚方市立くすの木園

〒573-0122

枚方市津田東町2丁目35-1

☎ 072-858-7353

FAX 072-858-2182



月1回の工賃支給日。
「今週の調理実習は何つくるの?」「来週はどこへ出かけるの?」とワクワク。「お給料で何を買おう」とドキドキ。
くすの木園では、こんなワクワク、ドキドキを一緒にしてみたい仲間を募集しています。
いつでも見学・実習を受け付けていますので、電話でお気軽にご相談ください。

この夏、心の世界を広げよう！

～夏休みボランティア体験プログラム～

今年も、毎年恒例の「夏休みボランティア体験プログラム」を実施しました。小学生から社会人、高齢者まで、ボランティアに関心、興味のある人に活動のきっかけづくりの場になればと、毎年7月から8月末まで実施しています。枚方市の活動先は、高齢者・障害者施設や保育園など39施設で、施設の日常業務やイベントなど、さまざまな活動を体験しました。

小学生から社会人、高齢者までを対象に、大阪府内の社会福祉施設やボランティアグループ等の協力を得て実施している「夏休みボランティア体験プログラム」を今年も行いました。ボランティアに関心・興味のある人に活動のきっかけ

づくりの場になればと、7月から8月まで、市内39施設で行いました。

8月1・2日の2日間、中振敬愛保育園に2人の高校生が参加しました。0歳児のクラスに入り、保育士の指導のもと、泣きだす子どもをあやしんだり、一緒に遊んだり、大忙しです。取材の日は初日ということので緊張しているようでしたが、一人は保育士、もう一人は心理関係の仕事と、将来の目標をしっかりと持っており、とても熱心に取り組んでいました。

園長先生は、「最近、保育士の希望者も減ってきていますが、保育園



～つながるひろがるボランティア～
枚方市ボランティアセンター
 ☎ 841-0181
 FAX 841-0182

ケータイで登録！
 登録者にはセンターからのメールマガジンやボランティア情報が配信されます。

枚方市ボランティアセンター

は地域の育児拠点として大きな役割を担っており、これから若い人たちにもっと関心を持ってほしい」と話していました。

枚方市ボランティアセンターでは、ボランティア活動の拠点として、専門のコーディネーターや、アドバイザーを配置し、ボランティア活動や市民活動について、情報提供や相談に応じています。

「ボランティアをはじめてみたい」「活動について相談したい」など、どのようなことでも気軽に相談してください。

ボランティアグループ紹介 28

くすの木園の活動を支援しています

ボランティアグループ「くすの木」

ボランティアグループ「くすの木」は、昭和60年4月8日に活動をスタートしました。地域の人たちを中心に活動をはじめてから、すでに20年以上経ちました。

その名の通り、市立くすの木園（知的障害者通所更生施設）を拠点に、毎週金曜日に活動しています。主な活動内容は、利用者が地域から回収してくる牛乳パックを、リサイクルしやすいように分類することです。近頃は、牛乳パックに生ゴミを入れて廃棄するなど、モラルの低下を感じることもありますが、少しでもくすの木園の利用者や職員のお手伝いができればという気持ちで、いつも頑張っています。

また、回収した牛乳パックを分解して紙すきにも使っています。長い間、積み重ねてきた経験と技術で、見事なりサイクルはが



メンバーみんなで紙すきの作品づくり

きが完成しました。これはラポールひらかた等で販売されており、とても好評です。時にはサイズや枚数指定のオーダーが入ることもあり、うれしい悲鳴が上がっていました。

現在、活動年数の長さとともにメンバーが高齢化してきているのがグループの悩みです。ボランティアグループ「くすの木」では現在メンバーを募集していません。みんなと楽しく活動しませんか。

◎問い合わせ
枚方市ボランティアセンター
☎ 841-0181

地域の福祉最前線

校区福祉委員会

～小地域ネットワーク活動～

給食で交流

磯島校区

磯島校区福祉委員会（上島美恵子会長）では、7月31日に「ふれあい試食会」を小学校で開催しました。

この試食会は、給食調理場の協力で、お年寄りと小学校児童の交流を目的に2年前から実施しています。当日は113人の参加で賑わいました。

テーブルごとにお年寄りと児童が座り、一緒に給食を食べながら交流を深めました。食後には枚方フィルハーモニー有志による木管・弦楽器の演奏で楽しい

楽しい企画いっぱいの子育てサロンスタート
樟葉北校区
樟葉北校区福祉委員会（西村尚美会長）では、お母さん同士が、ひとときの休息を得られることをねらいとして、7月6日に子育てサロン「チューリップの会」がスタート。当日は、親子で30人が参加しました。
会長のあいさつの後、保



親子で楽しくリラックス

育士経験のあるボランティアや民生委員・児童委員に保育を任せ、お母さん達は七夕の短冊と押し花コース

ひとときを過ごしました。参加した児童は、「とても楽しくて、夏休みのいい思い出になった」などと話していました。上島会長は、「世代間交流を通じてお年寄りや子ども達の笑顔の輪が広がればいいと思う。今後も継続していきたい」と話していました。



お年寄りも子どももいっしょに「いただきまーす」

ターを作りました。製作の合間にお茶を飲みながらの歓談と、とてもリラックスした様子でした。

参加者からは、「子どもから手が離れてこんな事ができてうれしい」「毎週でもやってほしい」と好評でした。西村会長は、「開所までの準備が大変だったが、参加者のみなさんに喜んでもらえてうれしく思う」と話していました。

歌体操で健康づくり

津田南校区

津田南校区福祉委員会（奥田一雄会長）では、7月20日「ふれあいいきいきつなみ つくしの会」を春日公会堂で実施。ボランティアグループ「HANDひらかた」の指導による歌体操をメインとして、小学唱歌の合唱、頭の体操ゲーム、福祉情報の紹介など、盛りだくさんのプログラムでした。ティータイムでは、スタッフの手作りおやつも出され、話が弾んでいました。

津田南校区では、現在5カ所で、各地区年2回ず



歌体操で健康を保ちましょう

つのサロンと、校区全体の集いを年1回開催しています。奥田会長は「みなさんの満足いく集いになるように、校区福祉委員会の組織充実を図りながら、これからも頑張っていきたい」と力強く話していました。

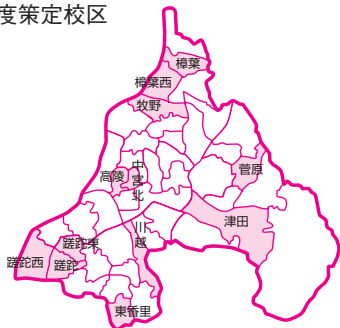
30周年を迎えました！

桜丘北校区

桜丘北校区福祉委員会（渡辺桂造会長）では、8月4日に「校区福祉委員会発足30周年記念盆踊り」を開催。多くの参加者でにぎわいました。「河内音頭伝承舞踏隊スターダスト」を迎え、華やかな先導のもと、参加者も楽しく踊っていました。各種団体の夜店もたくさん出店され、子ども達も大喜び。渡辺会長は、「30周年の区切りとして盆踊りが盛大に開催できてよかった」と話していました。



今年度策定校区



今年度は12校区（樟葉・牧野・樟葉西・高陵・中宮北・蹠野・蹠野西・蹠野東・東香里・川越・菅原・津田）が、計画作りを行っています。今号では、菅原校区・牧野校区の活動計画づくりを紹介します。

地域の福祉力

校区ふくしのまちづくり計画

～ 策定進行中 ～



まずは自らの地域を知ることから

計画づくり、いよいよスタート
菅原校区
菅原校区福祉委員会（津熊武男会長）では、6月22日に「校区ふくしのまちづくり計画」の趣旨説明・意

枚方市社協は、平成17年度から「ひらかた福祉のまちづくり計画2005（第3次枚方市地域福祉活動計画）」のもと、誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくりをめざして、さらなる地域福祉の発展を進めています。その中でも、各校区が独自に策定する「校区ふくしのまちづくり計画」は、昨年までに33校区が策定を終えています。今年も住民自らが主体となり、各校区独自の計画づくりが進められています。

見交換・策定委員選出が行われ、計画づくりがスタートし、8月7日に、策定会議を開催しました。策定委員のフリートーキングをもとに、校区の課題を出し合いました。

現在実施しているさまざまなか地域福祉活動を振り返り、より充実させる方向で、3つの課題がまとまりました。今後はこれらの課題に対し、5年間の具体的な行動案を立てていきます。

津熊会長は「校区の福祉活動は、地域住民の参加・協力なくしては進めていきません。より多くの地域の意見を吸い上げて、計画づくりを進めていきたい」と語っていました。

まちづくり課題が浮き彫りに
牧野校区

牧野校区福祉委員会（森本勝会長）は、7月2日・14日の2回に渡り、「校区ふくしのまちづくり計画」策定委員会を開催。策定委員には、杉本敏夫氏（関西福祉科学大学教授・第3次



みんなで計画づくりの意義を共有

枚方市地域福祉活動計画作業委員長）も校区住民として参加しました。

1回目はコミュニティ協議会で計画の意義や過程を共有。2回目は15人の委員がワークショップにより、課題を出し合いました。地域の特性や現在の活動を振り返り、「マナーのよい街づくり」や、「防犯と防災に備える街づくり」など、4つの課題がまとまりました。

森本会長は「いろいろな意見の中から、今回まとめられた4つの課題を中間まとめとして、回覧等により校区に公開し、より多くの住民の意見を聞いていきたい」と語っていました。

新潟県中越沖地震 街頭募金を実施

ご協力ありがとうございました。

8月1日、午前枚方市駅、午後樟葉駅周辺にて、枚方市赤十字奉仕団・枚方市社会福祉協議会の共催で、「平成19年新潟県中越沖地震義援金」のための街頭募金活動を実施しました。

当日は厳しい暑さの中、延べ75人が参加。道行く人々に協力を呼びかけました。募金は、多くの人たちのご支援により、合計21万9千473円が集まりました。

集められた募金は、日本赤十字社を通じ、義援金として全額現地へ送金し、役立てられます。ご協力ありがとうございました。



第10回ラポールふくしフェスティバル

～ひろげよう地域の『わ』つなごう心と心～

毎年恒例の「ラポールふくしフェスティバル」を今年も開催します。ボランティアグループや各種団体の活動の成果を発表し、多くの市民の皆さまに福祉活動を知ってもらうことを目的に実施しています。模擬店やバザーなど、いろいろな催しがありますので、是非ご来場ください。

こども映画会開催
「マダガスカル」

上映時間
1回目午前 10時30分～
2回目午後 1時00分～



ぜひお越しください

社協からの情報掲示板

日時 **11月17日(土)**

午前10時～午後3時30分

雨天決行

場所 **ラポールひらかた**

枚方市

枚方市社会福祉協議会

主催

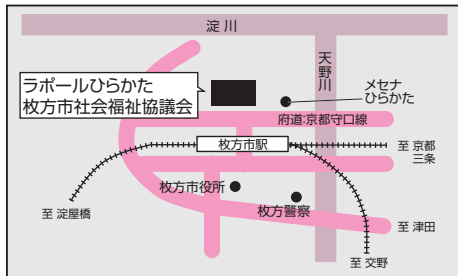
パナソニック AVC ネットワーク労働組合オーディオ・ビデオ門真支部

◎問い合わせ

枚方市立総合福祉会館

ラポールひらかた

☎ 845-1602 FAX 845-1897



フリーマーケット出店者募集!

- 時 間 午前10時～午後3時30分
 - 場 所 ラポールひらかた3階
 - 販売品目 衣類・文具・本・雑貨・アクセサリ等
小物や手作り品(飲食物や法令に触れる物、危険物等は販売できません)
 - 参加協力金 500円(説明会にて徴収します)
 - 申 込 み 往復はがきに必要な事項を記入の上
〒573-1191 枚方市新町2-1-35
「ラポールひらかたフリーマーケット係」(9/18必着)
応募者多数の場合は抽選にて決定します。(20組)
※必要事項=代表者名・住所・電話番号・参加人数・販売品(市外在住の方は勤務先・学校名)
 - 説明会 10月5日(金)午後1時30分～
- 【注意事項】
- 枚方市在住または在勤・在学の方で、自己の責任で販売・搬入・搬出のできる方。
 - 同一家族、グループ等による複数の申込みはご遠慮ください。

認知症サポーター養成講座開催

- 日時 9月30日(日)午前10時～12時20分
- 場所 特別養護老人ホーム安心苑(招提北町2-25-1)
- 内容 国が進める「認知症を知り地域をつくる10カ年」の構想に基づき、認知症について正しい知識を持ち支援を行う「認知症サポーター」の養成を行います。今回は枚方市北部地域の住民を対象として養成講座を実施します。
- 講師 枚方市立保健センター理学療法士 梶川 和宏 氏
- 対象 第1・2圏域(楠葉・船橋・牧野・招提・御殿山地区)住民
- 定員 40人
- 参加費 無料
- 申込み 9月1日(土)午前9時～電話受付
介護老人福祉施設 安心苑 ☎ 866-2217
- 主催 地域包括支援センター社会福祉協議会
地域包括支援センター聖徳園
介護老人福祉施設 安心苑

ラポール市民講座

わくわく教室



親子で一緒にあそび、おしゃべりしましょう!

日時	全3回1回	9月27日(木)	一緒に遊ぼう!①
	2回	10月11日(木)	一緒に遊ぼう!②
	3回	10月25日(木)	プチ勉強会(食育について)

- 午前10時～11時30分(全回)
- 場所 ラポールひらかた3階和室
- 内容 同じ年代の子供をもつ親同士、一緒に遊び、おしゃべりします。毎回保育士も参加します。
- 対象 H16年4月2日～H18年4月1日生まれの子どもとその保護者
- 定員 15組
- 参加費 300円(全3回)
- 申込み 往復はがきに子どもの名前・生年月日・住所・電話番号を書いてラポールひらかた「わくわく教室」係まで ※9月6日(木)必着
- 問い合わせ 〒573-1191 枚方市新町2-1-35
ラポールひらかた ☎ 845-1602

枚方断酒会創立30周年記念大会

大会テーマ

「人生あきらめたらあかん！」

アルコール依存症は、社会全体に蔓延している病気です。第1部の記念式典では本人・家族からの体験談の報告。第2部では、ゲストを迎えるトーク&ゴスペルコンサートを行います。ゲストはゴスペルシンガーの市岡裕子さん。市岡さんは、吉本新喜劇の故 岡八朗氏の長女で、父親のアルコール依存症や脳挫傷による記憶障害を弟子や断酒会とともに戦いながら舞台上に復帰しました。親と子の絆を取り戻し、「夢」や「希望」を失わなかった父と生きた喜びを語ります。

ゲスト 市岡 裕子さん(故・岡 八朗氏の長女)

日時 10月14日(日) 第1部 12時～14時
第2部 14時～16時

会場 枚方市民会館大ホール

参加費 無料

主催 枚方断酒会

後援 枚方市・大阪府枚方保健所
枚方市社会福祉協議会



◎問い合わせ

枚方市精神保健福祉推進協議会(社会福祉協議会内)

☎ 844-2443

第27回 くすの木まつり開催 「広げよう、地域の輪」

枚方市立くすの木園は、地域のみなさんとの交流を目的に、毎年「くすの木まつり」を開催しています。27回目となる今回も、模擬店、喫茶コーナー・ゲームコーナーやクッキー・花苗の販売、抽選会など、盛りだくさんです。ぜひ、お気軽にお越しください。

日時 10月28日(日) 雨天決行
午前10時30分～午後3時

場所 くすの木園

(京阪バス国際ゴルフ場前下車徒歩8分)

※当日お手伝いしてくれるボランティアを募集しています。(お茶、昼食あり)

◎問い合わせ

枚方市立くすの木園

☎ 858-7353

FAX 858-2182



第19回 枚方市健康福祉フェスティバル

「さあ、はじめよう!からだにやさしい健康づくり」を合い言葉に、今年も「第19回枚方市健康福祉フェスティバル」を開催します。健康に関するいろいろな催しを行いますので、ぜひご来場ください。

● **日時** 10月21日(日)
午前10時～午後4時

● **場所** ラポールひらかた

※駐車場はイベント会場となるため、車でのご来場はご遠慮ください。(障害者車輦スペースは確保しています。)

◎問い合わせ

枚方市社会福祉協議会 地域福祉課

〒573-1191 枚方市新町2-1-35

☎ 844-2443 FAX 845-1897



～歩くことからはじめよう～ 「1万歩ウォークラリー」

健康の維持・増進のために、子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加してください!

● **時間** 午前10時～12時(※雨天中止)

(受付10時～ スタート10時30分～)

● **定員** 200人(定員を超える場合は抽選とします)

● **集合場所** ラポールひらかた正面玄関前(屋外円形広場)

● **内容** 保健センターの理学療法士から、正しい歩き方やストレッチ方法を学び、牧野方面(折り返し)へのウォーキングを行う。

① 1万歩コース(約6～7Km・90分)

② 5千歩コース(約3～4Km・45分)

● **参加者には粗品を進呈**

● **申込み方法**

10/10まで、社会福祉協議会へ往復はがきで下記※必要事項を記入して申し込んでください。

※「第19回枚方市健康福祉フェスティバル・1万歩ウォークラリー参加希望」氏名(年齢)「住所」電話番号「参加希望コース」

ひとりで悩まず、気軽に相談してください「ラポールひらかた」の相談 **無料**

ふくし相談

高齢者の介護や障害のある人の生活問題など、福祉全般の相談に応じています。

福祉人権相談

障害のある人、認知症の人などの人権侵害や権利擁護に関わる問題について弁護士が相談に応じます。

ピアカウンセリング

ピアとは「仲間」の意味。障害のある人が障害のある人の相談に乗り、自立を援助します。

心の健康相談

心の悩みや不安を持つ人に臨床心理士・精神保健福祉士が相談に応じます。

知的障害(児)者等生活相談

知的障害のある人の地域生活におけるさまざまな相談に応じます。

福祉情報相談

福祉に関するいろいろな情報提供や相談に応じます。

◎各相談の場所・時間帯はそれぞれ異なりますので詳細は下記にお問い合わせください。

ラポールひらかた相談室 ☎ 841-0184

契約職員募集

ホームヘルパー **急募**

資格

ホームヘルパー2級課程以上終了者・介護福祉士等

条件

バイク持ち込みできる方
6時45分～22時で相談

年齢

18歳以上56歳まで

賃金

時間給1200円～2380円(移動・事務手当有)

内容

家事援助・身体介護

ガイドヘルパー登録

資格

ガイドヘルパー2級課程以上終了者
移動介護従事者養成研修終了者
枚方市ガイドヘルパー養成研修終了者

年齢

18歳以上

賃金

時間給1000円 他手当

内容

知的障害のある人等に対して、余暇活動の支援及び施設や作業所への送迎支援等

父子家庭支援員

資格

父子家庭の福祉向上に理解と熱意を有する者
家事・介護及び保育の経験、能力を有する者

年齢

18歳以上

賃金

時間給987円～1234円 他手当

内容

父子家庭に訪問し、児童の世話、掃除・食事等、家事を行う

申し込み

月曜日から金曜日の9時から17時の間に電話連絡の上、本人が履歴書(3ヵ月以内の写真を貼付)と資格証明書を持参する。

問い合わせ

枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課
☎ 841-6427 FAX 841-6429

平成19年度

中間報告

住民みなさんにご協力をお願いしています社協住民会費・福祉協力金、日赤社資募集(募金)の中間集計(8/10現在)を報告します。なお、引き続き募集をしていますので、ご協力をお願いします。

■社協住民会費・福祉協力金

1582万円

住民会員	23,014口	11,507,000円
特別住民会員	1人	20,000円
法人賛助会員	20口	200,000円
福祉協力金		4,096,586円
合計		15,823,586円

■日赤社資募集(募金)

1559万円

社資(500円以上)	7,959,500円
寄付金(自治会等一括含む)	7,111,621円
法人・団体・個人	519,000円
合計	15,590,121円

ご協力ありがとうございます。

第28回趣味同好会発表会開催

カルチャークラブ連合会は、枚方市総合福祉センターで趣味を楽しむ高齢者サークルの集まりです。80～90歳代のメンバーも多く、みんな元気に頑張っています。日頃の活動の成果を発表いたしますので、お誘い合わせの上、お越しください。

日時 10月17日(水)～10月21日(日)

午前10時～午後4時

場所 枚方市総合福祉センター

内容 (発表・競技)

謡曲・健康体操・詩吟・ダンス・ビリヤード・おどり・体操・民謡・カラオケ

(展示)

生花・書道・かな書道・木彫・俳画・俳句・短歌・盆栽園芸

その他 車でのご来場は、満車が予想されますので、送迎バスまたは公共交通機関をご利用ください。

◎問い合わせ

枚方市総合福祉センター ☎858-5835

心と心の橋わたし

寄付者名簿(敬称略)H19.5.1～7.15

【あげます福祉器具】

- ①改造自転車(左片マヒ用)
- ②座イス
- ③電動ベッド
- ④車イス
- ⑤携帯浴槽
- ⑥洗髪プール
- ⑦座面昇降車イス

※不用になった福祉器具を必要とされる方へ寄付したいという申し出があったものです。器具の仕様等の詳細や受け渡し方法については、双方で直接話し合ってください。ご連絡いただいた時点で既に受取者が決まっている場合はご了承下さい。

【福祉基金】

- ・枚方市役所1974年同期会 (15,236円)
- ・チェリー編集室(12,288円)
- ・匿名(1,100円)

ありがとうございました

香典返しは福祉基金へ

～ご協力お願いします～

社会福祉協議会では、寄付された「お香典返し」を福祉基金として積み立て、社会福祉事業に役立てていきます。

★忌明け挨拶状は本会で用意させていただきます。詳しくは事務局にお問い合わせください。

■問い合わせ

社会福祉協議会 ☎844-2443